

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～開業55年！サイゼリアの成功の法則とは・・・～

国内外に1500店舗を超え、年間来客者2億人を超える「サイゼリア」。気軽に、そして安価でイタリアンを食べることのできるレストランなので、君たちも行ったことあることでしょう。

このサイゼリアの創業者の正垣泰彦さんは、大学4年生の時、千葉県市川市に37席の洋食屋をオープンし、その後幾度もの危機を乗り越えて、今日の発展を築き上げた。著書に「サイゼリア おいしいから売れるのではない。売れているのがおいしい料理だ」があります。



うまくいかない、思い通りにならない、それが人生ですよね。つまり失敗することが前提にあるわけです。人間ってうまくいくとダメになっちゃうんですよ。エントロピーの法則(物事は放っておくと無秩序な状態に向かい、自発的に元に戻ることはない)と同じで、これでいいと満足したところからは進歩はなくなってしまふ。

大学で物理の勉強をやっていたのですが、量子力学によれば、この世に存在するすべてのものはエネルギーでできています。エネルギーって何かというと「中心がなくてみんなと繋がって、よりよい調和に向かって永遠に変化し続けている。」ただこれだけなんです。

「俺ってすごいだろ」
なんて有頂天もなると自分中心になっちゃう。こういう人はエネルギーの法則に反するから落ちぶれていく。

同様に自分の店の料理をおいしいと思った瞬間から衰退が始まってしまふ、とよく言われます。

例えば、年間販売数7万食を誇る人気ナンバーワンの「ミラノ風ドリア」は、少なくとも年に10回以上、1983年の販売からこれまで千回以上の改良を続けています。



———このような困難な時代のリーダーに求められることは？

なぜ困難が起こるかという、そこには必ず原因があります。多くの人はその原因を人のせい、世の中のせい、あるいはコロナのせいにするんですけど、実際は自分にあるんです。

失敗の理由を他に押し付けていては一步も前に進めない。原因は自分のなかにある。そう考えることが最も建設的だと思います。

困難な状況に直面すると苦しいですよ。でも、苦しい時にしか本当は自分を変えることはできないんです。だから、困難や辛苦の時は自分を変えるチャンス。周りの人をより幸せにできる。組織を大きく発展させるチャンス。

そして、乗り越えられない困難は来ない。自分を変えることによって必ず目の前の困難は乗り越えられる。これはいままでの自分の経験の中で実感し、かつ信じていることです。

『致知』2021年11月号 「最悪の時こそ最高である」より

正垣さんのように「すべての困難の原因は自分にあり、自分を変えることで必ず乗り越えられる」という境地にはなかなかたどり着けないかもしれませんが、このような考え方を持った人が社会で活躍されているということを知っておくことは、いつか役立つかもしれませんね。

この記事を読んで、書道家・武田双雲さんの『武田双雲の心をスーッと軽くする200の言葉』（扶桑社）が浮かんできました。

まっすぐ進むロケットがあるとして最初の飛ぶ方向の角度が1度違うだけで行き着く先が大きく変わる。このことから応用すると小さな習慣の変化がいかに人生という長い道の行き先に大きな変化をもたらすか。

明日は、1日のすべてのことに、1度でいいから角度を上向きに変えて過ごしてみませんか。

